

平成 20 年 3 月 12 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、清水、齋部、西村、松森)

海遊館に新たなスターが登場

『アデリーペンギン』がいよいよデビュー

とてもかわいい姿をご覧ください

大阪市港区の海遊館では、平成 20 年 3 月 14 日(金)、「南極大陸」水槽に、海遊館初展示となる「アデリーペンギン」8羽がデビューします(平成 20 年 2 月 22 日資料提供済み)。このほどその詳細が決まりましたのでお知らせします。

アデリーペンギンは、南極大陸とその周辺の島々に生息し、体長が 60~70 cm とペンギンの中では中型で、頭部から背部にかけて黒く、目の周りが輪状に白いのが特徴の、とてもかわいいペンギンです。一般的に持たれているペンギンのイメージに、一番近いペンギンといわれています。

今回展示する 8 羽のアデリーペンギンは、2 月 26 日(火)に達成した海遊館入館者 5000 万人の達成記念展示リニューアルの目玉として、生態や繁殖などの共同研究を目的に、2 月 25 日(月)に「アドベンチャーワールド(株式会社アワーズ)」からやって来たものです。海遊館ではこのアデリーペンギンの展示にあわせて、ペンギンたちをより近くでご覧いただけるように、「南極大陸」水槽内部のガラス際に陸上部分を増設する、一部リニューアルも実施しました。



アデリーペンギン



デビューを待つアデリーペンギンたち(予備水槽にて)

海遊館では、より多くの生き物たちをより間近にご覧いただくことで、生き物の多様性や自然環境にも興味を持っていただければと考えています。

1.【アデリーペンギン展示概要】

展示開始日 平成 20 年 3 月 14 日（金）
場 所 「南極大陸」水槽
展 示 数 8 羽（オス 4 羽、メス 4 羽）
生き物の状況により、展示数が変更になる場合があります。



2.【アデリーペンギンについて】

アデリーペンギン 英名Adelie penguin 学名*Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。頭部から背部にかけて黒く、目の周りにある白い輪（アイリング）が特徴。成長すると体長約 70 cmになる。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は 10～11 月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の産卵で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。

3.【「南極大陸」水槽について】

水槽容量 350t、気温 0～3.5 、水温 10～11.5 、展示面積 50 m²。

海遊館では、アデリーペンギン 8 羽、オウサマペンギン 22 羽、ジェンツーペンギン 9 羽、イワトビペンギン 10 羽を飼育しています。現在、「南極大陸」水槽に、オウサマペンギン 21 羽、ジェンツーペンギン 9 羽を展示しています。イワトビペンギンについては、繁殖目的のために予備水槽に移動させており展示していません。

生き物の状況により、展示数が変更になる場合があります。

4.【海遊館で飼育しているその他のペンギンについて】

オウサマペンギン 英名King penguin 学名*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる 18 種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで 2 番目に大きく、成長すると体長約 90 cmになる。南極大陸周辺の島々に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは 1 回の産卵で 1 個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ジェンツーペンギン 英名Gentoo penguin 学名*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約 75 cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の産卵で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

イワトビペンギン 英名Rockhopper penguin 学名*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。目の上にある黄色い冠羽が特徴。成長すると体長約 50 cmになる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。沿岸の岩場に小石や雑草で浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の産卵で 2 個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。